



笠井 清登 (KASAI Kiyoto)

東京大学大学院医学系研究科 教授
(精神医学)

東京大学医学部卒業。

国立精神神経センター武蔵病院精神科、東京大学医学部附属病院精神神経科助手、ハーバード大学医学部精神科客員助手、東京大学医学部附属病院精神神経科講師を経て、2008 年より現職。

専門は統合失調症、精神生理学、神経画像学。

主な著書に『精神保健サービス実践ガイド』（ソーニクロフト、タンセラ著、岡崎、笠井、福田ら監訳、日本評論社、2012）、『精神科研修ノート第二版』（笠井、三村、岡本、村井、大島ら編集、診断と治療社、2016）、『TEXT 精神医学』（共著、改定 4 版、南山堂、2012）、『思春期学』（笠井清登ら編集、東京大学出版会、2015）などがある。

日本生物学的精神医学会理事、日本神経科学学会理事、日本精神神経学会評議員、日本統合失調症学会理事・事務局長などを兼務。

主な受賞に、第 11 回日本生物学的精神医学会・学術賞（2003）、平成 16 年度東京都医師会医学研究賞・奨励賞（2005）、平成 18 年度財団法人長寿科学振興財団・若手研究者表彰事業・理事長賞（2006）、平成 20 年度日本神経科学学会奨励賞（2008）など。